

令和 7 年度地方独立行政法人広島県立病院機構の決算状況について

1 決算の総括

- 広島病院の病床再稼働等による経営改善により、総収益は 26 億円増加した。一方、営業費用について、給与費増や物価高騰の影響に加えて、新病院開院を見据えた建物の加速償却に係る減価償却費が 17 億円などにより 58 億円増加、臨時損失について、県立二葉の里病院の統合に伴う退職手当引当金の計上方法の見直しによる 7.6 億円の増加等により、総費用は 54.2 億円増加し、当期純損失は 52.3 億円となった。
- 資金収支については、病院事業債（経営改善推進事業）の借入等に伴い 10 億円の黒字となった。
- 運営費負担金収益については、県立二葉の里病院に係る負担金の増などにより 9.3 億円増加し、36 億円となった。

(単位：千円)

区 分		令和 6 年度 (A)	令和 7 年度 (B)	差 引 (B)-(A)
収 益	営 業 収 益	32,174,264	36,733,361	4,559,097
	営業外収益	2,473,757	467,468	△ 2,006,289
	臨 時 利 益	66,564	110,598	44,033
	総 収 益	34,714,584	37,311,426	2,596,842
費 用	営 業 費 用	35,341,124	41,111,508	5,770,384
	営業外費用	1,551,081	434,985	△ 1,116,096
	臨 時 損 失	228,737	990,522	761,785
	総 費 用	37,120,941	42,537,015	5,416,073
収 支 差 引		△ 2,406,357	△ 5,225,588	△ 2,819,231
資 金 収 支		△ 3,080,200	1,013,576	4,093,776
運 営 費 負 担 金 収 益		2,706,483	3,636,019	929,536

※各項目の金額は四捨五入していることから、合計や差引と一致しない。
 ※令和 6 年度は旧病院事業会計の決算、令和 7 年度の勘定科目（区分）は地方独立行政法人会計基準に基づく科目で記載

2 病院の収支状況

(1) 広島病院

損益計算書：経常収支は、18.6億円の赤字

医業収益は、新規入院患者数の増加や全身麻酔手術件数の増加等により、対前年度4.9億円の増加

医業費用は、給与費、材料費、経費、加速償却による減価償却費の増加により、対前年度24.5億円の増加

患者数の状況：入院は、救急車受入件数の増加等により、新規患者数は増加したが、在院日数の短縮等により、延べ患者数は減少

1日1人当たり単価は、高額手術の増加等により増加

外来は、再診患者の減少により延べ患者数は減少し、高額薬剤の薬価の低下等により1日1人当たり単価は減少

(損益計算書)

(単位：千円)

(患者数の状況)

区分		広島病院		
		令和6年度(A)	令和7年度(B)	(B)-(A)
収 益	営業収益	24,217,213	27,480,937	3,263,724
	医業収益	24,217,213	24,707,318	490,105
	うち入院収益	16,720,893	17,658,434	937,541
	うち外来収益	6,836,568	6,783,645	△52,923
	営業外収益	1,933,187	202,084	△1,731,103
	臨時利益	1,650	99,063	97,413
	総収益	26,152,050	27,782,083	1,630,033
費 用	営業費用	25,829,938	29,365,686	3,535,748
	医業費用	25,829,938	28,275,410	2,445,472
	うち給与費	13,566,760	14,118,064	551,305
	うち材料費	7,500,938	7,683,586	182,648
	うち経費	3,448,249	3,543,503	95,255
	うち減価償却費	1,168,465	2,827,575	1,659,110
	営業外費用	1,381,494	181,753	△1,199,742
	臨時損失	8,737	105,633	96,896
	総費用	27,220,169	29,653,072	2,432,903
	経常収支	△1,061,032	△1,864,418	△803,386
	営業収支	△1,612,726	△1,884,750	△272,024
	営業外収支	551,693	20,331	△531,362
収支差引		△1,068,119	△1,870,989	△802,870
資金収支		△1,666,435	△995,017	671,418
運営費負担金収益		2,242,523	2,315,467	72,944

区分		広島病院 (4/1～9/30：587床、10/1～3/31：627床)		
		令和6年度(a)	令和7年度(b)	(b)-(a)
入 院	新規患者数	16,926人	17,724人	798人
	延べ患者数	194,300人	193,202人	△1,098人
	病床利用率	85.4%	87.2%	1.8%
	1日1人当たり単価	86,073円	91,123円	5,050円
	延べ患者数	244,320人	242,955人	△1,365人
外 来	1日1人当たり単価	28,028円	27,926円	△102円

※各項目の金額は四捨五入していることから、合計や差引と一致しない。
※令和6年度は旧病院事業会計の決算、令和7年度の勘定科目（区分）は地方独立行財政法人会計基準に基づく科目で記載
※令和6年度の県立病院課（令和7年度の法人本部に相当）の決算は、広島・安芸津に按分して計上

(2) 安芸津病院

損益計算書：経常収支は、5.1億円の赤字

医業収益は、延べ入院患者数の減少等により、対前年度1.5億円の減少

医業費用は、給与費、加速償却による減価償却費の増加により、対前年度1.2億円増加

患者数の状況：入院は、内科系疾患の患者数の減により、新規患者数・延べ患者数ともに減少

一方、高額な人工関節置換術件数の増加等により1日1人当たり単価は増加

外来は、発熱外来等の減により延べ患者数は減少するも、高額治療薬使用量やMRI撮影件数の増加等により1日1人当たり単価は増加

(損益計算書)

(単位：千円)

(患者数の状況)

区分		安芸津病院		
		令和6年度(C)	令和7年度(D)	(D)-(C)
収 益	営業収益	1,522,545	1,893,402	370,857
	医業収益	1,522,545	1,372,295	△150,250
	うち入院収益	1,006,911	920,376	△86,535
	うち外来収益	383,155	405,363	22,208
	営業外収益	421,021	9,766	△411,255
	臨時利益	14	11,136	11,122
	総収益	1,943,580	1,914,304	△29,277
費 用	営業費用	2,219,218	2,403,235	184,017
	医業費用	2,219,218	2,338,900	119,683
	うち給与費	1,272,468	1,341,529	69,061
	うち材料費	256,514	251,693	△4,820
	うち経費	519,165	485,102	△34,063
	うち減価償却費	161,254	255,499	94,245
	営業外費用	88,964	11,934	△77,030
	臨時損失	3,331	11,260	7,929
	総費用	2,311,512	2,426,428	114,916
	経常収支	△364,616	△512,001	△147,385
営業収支		△696,673	△509,833	186,840
営業外収支		332,056	△2,168	△334,225
収支差引		△367,932	△512,125	△144,192
資金収支		△373,792	△399,437	△25,645
運営費負担金収益		463,960	493,076	29,116

区分		安芸津病院 (98床)		
		令和6年度(c)	令和7年度(d)	(d)-(c)
入 院	新規患者数	1,141人	963人	△178人
	延べ患者数	27,450人	24,290人	△3,160人
	病床利用率	76.7%	67.9%	△8.8%
	1日1人当り単価	36,687円	37,553円	866円
	延べ患者数	48,698人	48,222人	△476人
外 来	1日1人当り単価	7,876円	8,368円	492円

※各項目の金額は四捨五入していることから、合計や差引と一致しない。

※令和6年度は旧病院事業会計の決算、令和7年度の勘定科目（区分）は地方独立行政法人会計基準に基づく科目で記載

※令和6年度の県立病院課（令和7年度の法人本部に相当）の決算は、広島・安芸津に按分して計上

(3) 二葉の里病院

損益計算書：経常収支は、12.0億円の赤字

医業収益は、延べ入院患者数の増加等により、対前年度0.7億円の増加

医業費用は、給与費、材料費、経費の増加により、対前年度7.8億円の増加

臨時損失は、退職手当引当金の影響により、対前年度6.6億円増加

患者数の状況：入院は、一部病棟の休棟により新規患者数は減少したが、その他病棟の稼働率向上に伴い延べ患者数は増加

平均在院日数が伸びたことにより、1日1人当たり単価は減少

外来は、医師数の減により延べ患者数は減少するも、高額薬剤の使用により1日1人当たり単価は増加

(損益計算書)

(単位：千円)

(患者数の状況)

区分		二葉の里病院		
		令和6年度(E)	令和7年度(F)	(F)-(E)
収 益	営業収益	6,434,506	7,049,874	615,367
	医業収益	6,434,506	6,507,007	72,500
	うち入院収益	4,071,452	4,116,765	45,313
	うち外来収益	1,909,519	1,918,933	9,413
	営業外収益	119,548	251,552	132,004
	臨時利益	64,900	222	△ 64,678
	総収益	6,618,954	7,301,648	682,694
費 用	営業費用	7,291,968	8,315,318	1,023,350
	医業費用	7,291,969	8,069,692	777,724
	うち給与費	3,646,239	4,683,394	1,037,155
	うち材料費	1,401,546	1,501,647	100,101
	うち経費	361,618	1,197,903	836,285
	うち減価償却費	617,598	663,212	45,615
	営業外費用	80,623	184,892	104,270
	臨時損失	216,669	873,451	656,782
	総費用	7,589,260	9,373,661	1,784,402
	経常収支	△ 818,537	△ 1,198,784	△ 380,246
	営業収支	△ 857,462	△ 1,265,444	△ 407,982
	営業外収支	38,925	66,660	27,735
収支差引		△ 970,306	△ 2,072,013	△ 1,101,708
資金収支		△ 1,039,973	△ 756,973	283,000
運営費負担金収益			524,508	524,508

区分		二葉の里病院 (4/1～11/30：269床、12/1～3/31：227床)		
		令和6年度(e)	令和7年度(f)	(f)-(e)
入 院	新規患者数	5,452人	5,109人	△343人
	延べ患者数	66,966人	67,532人	566人
	病床利用率	68.2%	72.5%	4.3%
	1日1人当たり単価	60,799円	60,721円	△ 78円
	延べ患者数	111,251人	105,773人	△ 5,478人
外 来	1日1人当たり単価	17,164円	18,108円	944円

※各項目の金額は四捨五入していることから、合計や差引と一致しない。

※二葉の里病院の令和6年度数値は、JR広島病院（医療法人 JR 広島病院）の決算内容を記載

(4) 参考：法人本部

経常収支は 7.7 億円の赤字

運営費負担金等により、総収益は 3.1 億円

人件費や共通システム経費等の一般管理費等により、総費用は 10.1 億円

(損益計算書)

(単位：千円)

区分		法人本部		
		令和 6 年度 (G)	令和 7 年度 (H)	(H) - (G)
収 益	営 業 収 益		309,149	309,149
	営業外収益		4,066	4,066
	臨 時 利 益		177	177
	総収益		313,391	313,391
費 用	営 業 費 用		1,027,269	1,027,269
	営業外費用		56,406	56,406
	臨 時 損 失		177	177
	総費用		1,083,853	1,083,853
経 常 収 支			△ 770,461	△ 770,461
	営業収支		△ 718,121	△ 718,121
	営業外収支		△ 52,341	△ 52,341
収支差引			△ 770,461	△ 770,461
資 金 収 支			3,165,002	3,165,002
運営費負担金収益			302,967	302,967

※各項目の金額は四捨五入していることから、合計や差引と一致しない。

※令和 6 年度の県立病院課（令和 7 年度の法人本部に相当）の決算は、広島・安芸津に按分して計上

3 その他

物価高騰や金利上昇などにより厳しい経営状況にあることから、令和 7 年度決算や令和 8 年度診療報酬改定など現中期計画策定以降の状況変化を踏まえ、収支計画の精緻化を行った上で、県からの運営費負担金も含めた中期計画の変更を検討